

## 平成 27 年度 第 3 回筑紫野市地域公共交通会議議事録

期 日 平成 27 年 12 月 1 日 (火)

時 間 14:30~15:30

場 所 筑紫野市歴史博物館 2 階 研修室

### 出席委員

藤木正文委員、中島徹也委員、齋藤友二委員、森民夫委員、河内益夫委員、畔田友美委員  
執行信孝委員 (代理)、山田学委員、永田孝男委員、中園裕蔵委員、原数政委員  
辰巳浩委員、山口浩司委員、江藤俊哉委員、藤木繁尅委員、澤渡裕文委員 (代理)  
檜木孝一委員 以上 17 人

### 欠席委員

森岡壯一委員、戸田登喜雄委員、田中靖久委員、森賢二委員 以上 4 人

### オブザーバー

田村正宣 氏 (国土交通省九州運輸局福岡運輸支局)

### 事務局

総務部 北橋部長  
安全安心課 八尋課長、萩尾係長、寺崎主任 以上 4 人

傍聴人 4 名

### 【議事】

事務局

定刻になりましたので、ただいまから第 3 回筑紫野市地域公共交通会議を開催いたします。私は本日の司会を務めます、筑紫野市安全安心課の八尋と申します。

本日の委員の出席者につきましては、委任状をいただいております代理の方も含めて 17 名となっております。規約第 8 条第 2 項より、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とありますが、本会議の委員数は 21 名ですので、会議は成立していることを報告いたします。

本日の会議には、福岡運輸支局の田村様にオブザーバーとして参加頂いております。

それでは、規約第 8 条第 1 項により、会長が会議の議長となりますので、ここからの会議の進行につきましては会長をお願いいたします。

議長

皆さん、こんにちは。議長を務めます藤木です。委員の皆様方にはご多忙中にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。

前回までの会議では、筑紫野市のさまざまな現状や、公共交通が果たすべき役割、課題、また、それを解決するための取組の方向性の確認を行いました。

今回の会議では、筑紫野市が目指す公共交通の将来像や計画の目標をお示し、筑紫野市地域公共交通網形成計画の素案を決定していきたいと考えています。

平成 27 年度中の計画策定に向けて、どうぞよろしくお願いたします。

それでは次第に基づき会議を進めます。まずは、議事「筑紫野市地域公共交通網形成計画（素案）」の承認について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき説明）

議長

ただいま「筑紫野市地域公共交通網形成計画（素案）」について説明がありましたが、質疑はございませんか。

委員

目次であるが、2.2 の都市マスタープランは別のページでは都市計画マスタープランと表記されており、後者に統一する必要があるかと思う。1 ページ目の公共交通の負のスパイラルの図がスパイラルになっていないので、一番下の矢印を逆向きにするなどの必要があるかと思う。6 ページの（5）公共交通に関する施策・事業等について見出しが異なる。52 ページの目標②の二つ目の文章は最後に読点が抜けている。53 ページの数値目標②カミーリヤバスの年間利用者数の目標が現状維持となっているが、22 ページのこれまでのデータでは増加しており、現状維持でよいのか。路線バスの方は減少している状況なので現状維持でもよいかと思う。56 ページの目標②の 2 項目であるが、商業施設等と連携するのであれば商業施設が実施主体に入っている必要があるかと思う。

事務局

目次については指摘の通り修正する。2 点目の負のスパイラルの図は修正する。6 ページ目の字体や構成が異なるが、都市計画マスタープランから抜粋したものとなっていたため、形成計画の構成と合わせるよう修正する。52 ページについては読点を追加する。53 ページのカミーリヤバスの利用者数は近年増加傾向となっており、カミーリヤバスと路線バスとの結節性についても検討し、増加することも考えられるため、増加する数値目標と言う形で再検討する。56 ページの実施主体については商業施設等も追加する。

委員

施策の中の事業主体で地域住民と出てくるが、地域住民では漠然としており、コミュニティの運営協議会を念頭としているのか。

事務局

ご指摘の通り、地域コミュニティ運営協議会を想定している。

委員

地域住民では漠然としており、新たに公募して取り組むようにとられかねないので、地域コミュニティ運営協議会等と主体をはっきりさせた方がよいのではないかと。

事務局

ご指摘の内容についてはコミュニティ等と明記した方が分かりやすいため、表記方法について関係部署や地域コミュニティと調整し、修正を行う。

- 委員 実施時期がH28以降となっているが、いつ頃までにどのようにするのか。最終目標はH31となっているが、その辺をどういう形で推進していくのか。全市的に実施することは困難と思われるので、例えば地域コミュニティと協議しモデル地域を作るなどの取り組みも必要ではないか。山家地区は一度そのような計画を行った経緯があり、色々な問題があつてなくなったとは思う。昨日、地域コミュニティの方で先進地視察に行ってきたが、その中で市内全域でなく3箇所くらい地域住民と一体となってユニークな公共交通への取り組みを実施していた。地域コミュニティとしてそのような点を推進していくためには、モデルを作らないと、勝手にやりなさいでは上手くいかないと思う。
- 事務局 ご指摘の通り、市全域いきなり導入しても上手くいくか分からないため、計画に基づく具体的施策の実施の際は、モデル地区を選定し、実証実験等なりを行い、どういった形で利用されるか見ていきたいと思う。ただし、計画の中にモデル地区の選定まで含めるか否かについては事務局の方で検討させていただきたい。実施主体が地域コミュニティだから地域コミュニティのみで実施するという意味ではなく、三者一体となって取り組んでいきたいと思っている。
- 委員 市議会も地域公共交通に関する行政視察を行っており、市民が求めている中身として、実現する方向でいくのであれば具体性を計画の中に持たせた方がよいのではないか。
- 委員 今回の計画作成後、現在議論されているような細かい部分を決めていく必要があると思う。特に55ページ以降施策を記載されているが、細かいことを決めないと施策を実施することはできない。イメージとしては、計画ができれば公共交通会議は続くので、市の方から提案等があり、その際にコミュニティ等と協議して進めていく感じかと思う。
- 事務局 55～56ページに概要は記載しているが、これを具体的にしないと実現はしない。形成計画はマスタープランみたいなものであり、実現に向けて論議していく。その論議の場は本会議の場であり、H28以降、会議の場で具体的に検討していきたい。
- 委員 51ページの方向性①の2つ目の文章であるが、カミーリヤバスはいじるのか、それとも現状維持を前提とするのか。他の所にはカミーリヤをいじるという表現は全く出てこない。
- 事務局 意図としては、まずは現状のものを利用して結節などをよくしつつ、必要に応じて新たな地域公共交通の導入を検討するという意味合いがある。例えば、必要に応じてカミーリヤバスと路線バスが重複している部分を再構築するという事も考えられる。ご指摘の通り、文章の表現が分かりにくいいため、例えば、路線バスやカミーリヤバスについては、併せて検討するような意味合いで修正する。
- 委員 内容について、住民目線で見ただけ難しい言葉が記載されており、例えば、52ページ

のフィーダ路線やトリガー方式など、住民に浸透させるためには高齢者も多くなっているため、分かりやすい言葉の方が良いかと思う。図がたくさん載っているが、例えば6ページの都市構造など小さくて分からないため、細かい内容は簡略化し、分かりやすいものにした方がよい。これだけのボリュームがあるが、概要版やパンフレット等を作る考えはあるか。

事務局 51ページのフィーダー等の言葉については注釈を加えたいと思う。6ページ等の図については、再検討し、住民目線で見えるような形で再構成したい。概要版については検討し、必要に応じて作成したいと思う。

委員 53ページの現状の値の時点はいつか。

事務局 H26年度を記載している。

委員 53ページの目標値において公共交通空白地域が22箇所となっているが、どういった地域が具体的に該当するのか。住民の方からもどのようになるのかイメージできると思うので記載したほうがよい。

事務局 19ページを見ていただくと、22箇所については行政区全てが入っていない箇所と一部、行政区が入っていない箇所がある。全てが入っていない箇所は、阿志岐、馬市などが該当する。一部となると、針摺などである。

委員 全体と通して空白地域が示してあるのは19ページのみか。

事務局 ここのみである。

委員 不親切であるため、19ページの図の下に空白地域の一覧表を付ければ、住民の方も該当するか否か、より身近に感じるのではないか。

事務局 標記について考えて、分かりやすくできるよう検討したい。

議長 素案の内容については、ご意見等について修正・加筆のうえ承認ということでよろしいでしょうか。

委員 (委員一同了承)

議長 ありがとうございます。本日予定しておりました議事は以上で終了します。  
続きまして報告事項「筑紫野市地域公共交通網形成計画策定に係る今後のスケジュール」について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

議長

ただいま「筑紫野市地域公共交通網形成計画策定に係る今後のスケジュール」について説明がありましたが、質疑はございませんか。

(委員一同質疑無し)

議長

それでは本日予定しておりました事項は全て終了しましたので、ここで議長を退任いたします。ありがとうございました。

事務局

藤木会長、ありがとうございました。

それでは以上を持ちまして、第3回筑紫野市地域公共交通会議を閉会いたします。

以上